

広 葉 樹 増 殖 試 験

鹿児島県林業試験場 郡 山 正 昭
寺 師 健 次

1. はじめに

最近公害の激増にともない、環境緑化としての広葉樹に対する要望が強まってきた。当场でも昭和47年からその増殖について試験を行なったので報告する。

2. 方 法

昭和47年10月および48年10月に採取した広葉樹について、まきつけ試験を行ない樹種別の発芽ならびにとりまき、砂貯蔵、および湿層処理による発芽率の差について調査した。

3. 結果と考察

当然のことではあるが、樹種別の発芽率に大きな差があり、大別すると表のとおりである。

苗木を養成する場合、発芽率65%以上の樹種はあまり問題はないと思われるが、約4割の樹種は発芽に2

年かかったり、また発芽率35%以下と低い発芽しか示さない。それらについては発芽促進やまきつけ方法および貯蔵等に考慮をほらう必要があると思われる。

発芽率65%以上と非常に発芽率の高い樹種は、2、3の例を除き、一般的にまきつけ法別による発芽率の差がないものが多く、発芽率の低い樹種はまきつけ法別に発芽率の差が大ききようである。また砂貯蔵および湿層処理でまきつける場合、当地方では2月末ですでに発芽したものではモソコク、トベラ、サンゴジュ等多数あるので、1月の末か遅くとも2月上旬にまきつける必要があると思われる。

発芽してから3か月間に成立本数が急激に減少する樹種が意外に多い、観察の結果ではあるが、病気、虫害等で枯損するものの外、日射に非常に関係するようで、梅雨後の高温で、稚苗もいまだ木質化しておらず地際部が黒く焼けたような症状を示し、枯損するのが多い。

次表の説明

- ※区分 I = 発芽率の区分
II = まきつけ法別と発芽率
III = 成立本数と消長

発芽率の区分

- A……………とりまき、砂貯蔵および湿層処理とも、まきつけ当年で発芽しなかったもの（表より除く）
B……………発芽率 35%以下のもの
C……………発芽率 65%以上のもの
D……………発芽率 36~64%と中間に属するもの

まきつけ法別と発芽率

- a……………とりまきが、他に比べて発芽率の良かったもの
a'……………とりまきが、他に比べて悪かったもの
b……………砂貯蔵が他に比べて良かったもの
b'……………砂貯蔵が他に比べて悪かったもの
c……………湿層処理が他に比べて良かったもの
c'……………湿層処理が他に比べて悪かったもの
d……………とりまき、砂貯蔵および湿層処理ともあまり差がなかったもの

成立本数の消長

- 1……………発芽してから3か月間に成立本数が急激に減少するもの
2……………5月と8月で成立本数があまり増減しないもの
3……………成立本数が大きく増加するもの

広葉樹の発芽率

(単位%)

樹種	調査		発芽率				区分	備考
	とりまき		貯蔵		湿層処理			
	5.18	8.3~8.21	5.18	8.3~8.21	5.18	8.3~8.21		
アゴ	オン	モズ	ジイ	未調査	11	未調査	B	
ゴ	ク	レカ	イノ	21	23	24	"	d
ワ	タ	マ	カリ	0	0	1	"	"
カ	ゲン	マ	ミツ	3	4	23	"	c
サ	ザ	デ	マ	6	0	0	"	a
ズ			カリ	0	0	0	"	"
オ	ム	サ	シユ	0	1	5	"	c'
コ	マン	キ	ユラ	20	11	7	"	"
カ			ベ	33	30	23	"	a
サイ	ル	ス	ギ	0	6	0	"	"
イ	ニ	グ	ル	9	7	3	"	c'
オ	イ	ン	ボ	21	17	13	"	b
タ	イ	ン	ク	未調査	11~17	—	"	"
ア	セ	ン	ビ	17	10	7	"	c'
シ	シ	ン	ポ	1	0	0	"	"
イト	シ	ン	ユ	6	2	7	"	"
ト	ベ	ン	ラ	7	6	6	"	b'
ヒ	カ	ン	キ	4	2	4	"	d
サ	カ	ン	キ	12	8	30	"	a'
ハ	サ	ン	キ	3	0	11	"	a'
シ	マ	ン	キ	6	4	19	"	a'
オ	ヒ	ン	シ	2	2	—	"	"
サイ	コ	ン	ブ	17	11	35	"	b
イ	ノ	ン	キ	10	8	30	"	a'
キ	シ	ン	ブ	66	25	65	"	d
シ	ノ	ン	ダ	24	86	22	"	d
ク	ロ	ン	モ	40	78	48	"	d
ヤ	ス	ン	キ	72	88	88	"	d
マ	ニ	ン	イ	67	77	70	"	d
ネ	ツ	ン	イ	20	65	—	"	"
ト	モ	ン	チ	51	27	66	"	d
ホ	ミ	ン	キ	65	59	41	"	c
ミ	ノ	ン	イ	69	60	70	"	c'
オ	バ	ン	キ	36	26	65	"	b
シ	タ	ン	イ	79	71	73	"	d
ク	リ	ン	ギ	85	88	53	"	d
モ	サ	ン	シ	65	43	84	"	a'
キ	レ	ン	ウ	60	68	33	"	d
ク	セ	ン	ギ	45	27	—	"	c
コ	ヌ	ン	イ	75	66	89	"	d
イ	ジ	ン	シ	16	57	31	"	d
ア	イ	ン	シ	52	66	39	"	d
ウ	ラ	ン	シ	74	89	54	"	d
オ	タ	ン	シ	44	76	21	"	d
ア	ガ	ン	シ	55	70	—	"	"
コ	ラ	ン	シ	—	—	100	"	"
ゲ	ワ	ン	シ	—	—	87	"	"
ム	ミ	ン	シ	73	69	81	"	d
モ	ク	ン	シ	73	71	—	"	"
ヒ	シ	ン	ナ	61	44	77	"	d
カ	ク	ン	ハ	85	79	79	"	d
サ	タ	ン	ユ	49	53	60	"	d
ヤ	ク	ン	ナ	82	77	60	"	d
コ	メ	ン	ハ	81	66	58	"	a
ミ	カ	ン	ユ	67	89	83	"	d
ナ	ザ	ン	カ	50	81	80	"	d
ハ	ブ	ン	キ	75	70	75	"	d
エ	マ	ン	ラ	34	27	40	"	c
ネ	ア	ン	シ	40	32	0	"	b'
モ	ダ	ン	ン	83	80	—	"	a
ム	ツ	ン	ゲ	未調査	57	91	"	b
ム	ノ	ン	キ	62	50	21	"	c
ム	ヨ	ン	ウ	39	30	50	"	c
ム	シ	ン	イ	10	35	9	"	b
ム	ョ	ン	ア	7	43	0	"	c
ム	シ	ン	デ	14	12	5	"	d
ム	ル	ン	モ	9	21	35	"	d
ム	モ	ン	ワ	—	—	8~52	"	D
ム	ビ	ン	キ	51	56	—	"	a'
ム	ノ	ン	ク	20	20	57	"	"
ム	コ	ン	ク	1	13	1	"	b
ム	ノ	ン	ク	9	8	20	"	c
ム	コ	ン	ク	59	55	1	"	a
ム	コ	ン	ク	47	45	39	"	"